

施設名：Annantalo arts center ～アートや教育に誰でも参加できる施設～  
フィンランド・ヘルシンキ

アンナタロは公共機関の一つとして学校とも連携しているアートスクール。学校だけでなく乳幼児もワークショップに参加できるようになっている。カフェがあり母親も幼い子どももゆったりと過ごせる空間とプレイエリアが用意されていた。

入口にはわかりやすい大きな看板がある。  
乳幼児から高校生までの利用が可能。



広い公園があって親子で取り組んだ作品がフェンス沿いに展示してある。



デジタルアートを楽しめる2階のスペース  
様々な形のソファでゆったりできる空間。



地下1階に向かうとやや広い舞台の教室がある。  
途中の壁は子どもの描いた絵。



公共施設とは思えないほど色使いが美しく  
子どもの作品を展示してある。カフェにも。

建築的な造形は親子で取り組み、また柱には  
穴が開いてのぞいてみるとクレイ作品。



## アンナンタロのクレイアートや植物をテーマにした授業

小学校の高学年を対象にしたクレイアートクラス。ボタニカルアートは中学生が中心。教室は活動内容や学年によって分かれている。先生同士は互いのアート活動をサポートし合うようにスケジュールを立てて教室を移動しながら子どもの表現活動に力を注ぐ。

先生の作品を参考にしながら構造的に体の仕組みを捉えるように話しかける。



ターンテーブルを一人一台用意する。使うだけの粘土を取り分け作り始める。



アトリエには描くための固形絵具や水彩絵具など沢山の素材が整えてある。



大きな作品にも対応できるイーゼルと板が用意され、広い制作スペースがある。



ボタニカルアートや植物学の資料を参考にテキスタイルを意識したアートワーク。



先生と息がぴったりのアシスタントさんも子ども達の感性を引き出している。





## 施設名：ヴオレンマキ フィンランド・キルツコヌンミ市

保育園と小学校は同じ建物の中にある。森が近く自然の環境を活かした教育やアートの活動が積極的に取り入れられ子どもの育ちをサポートする。就学前後の連携が取れやすく安心して小学校のカリキュラムに移行できるようなプロジェクト保育が行われていた。

エントランスまでは広く自転車やベビーカーが置けるスペースが設けられている。



廊下には異年齢のグループワーク・ネイチャーアート作品が展示されていた。



子ども達は自分で使いたい色を探し自由に表現を楽しむことができる。



様々なイラストや技法の作品が飾られている。子どもの美術館に来た気分になる。



ランチタイムは小学校の子ども達。食べる量も自分で決めて自由な楽しい食事の時間。



園長先生とメディアリテラシー担当の先生、紹介して下さいだったヒルツネンさんが駆けつけてくれた。



## 施設名： ヴオレンマキ保育園にて ～メディアリテラシーの活動を学ぶ～

メディアリテラシーのプロジェクト保育を導入し、子どもの遊びに映画製作やアート作品を組み合わせた活動を見ることが出来た。映像づくりを通し自分に関わることの面白さや役割に気づき自然と協調性や社会性を身につけることが出来るプログラムになっている。

切る・縫う・デザインする活動は指先を使い考える子どもの思考を成長させる。



母の日に合わせてプレゼントするために手紙を書いてクラフトを楽しむ姿が見られた。



レゴブロックを使って空間の色を変えるとどんな効果が生まれるかを考える活動。



廊下には数や量が確認できるように教えるよりも、気づく触れることで学ぶ工夫が。



活動はデジタル化され、活動の様子はすぐに写真で紹介しドキュメント化する。

幼い子ども 2.3 歳児は自由に描いた作品が壁に飾られ、家族に向けたメッセージなども展示。





## 施設名：ミスティリ保育園 フィンランド・ヴァンター市

長期的なプロジェクト保育を展開しながらアートの視点を重点に子どものイマジネーションを大切に活動が興味深い。子ども達の表現する意欲を育てるには音楽やダンスも欠かせない。遊び心をストーリーと重ねながら絵の具の活動へと導く等、アートを広げる面白さを学ぶ。

外観は大きな窓から光が差し込む開放的な作りが印象的。子どものプレイルームが見える。



プレイマットで寝転がったり自由に体を動かしてリラックスするガラス張りのスペース。



コーナーには必ずソファが置いてある。リラックスしながら安心して過ごせる場所。



思いきり外遊びで汚れても大丈夫。上着やブーツの身支度がしやすい出入口になっている。



吊り輪で遊んでもロープでぶら下がってもいいように広い遊戯室のような場所。



クラスのマスコットや旗を掲げて仲間意識を高める演出も。どんな時もチームワークは大切に。





## ミスティリ保育園の保育環境

遊びの空間・音やリズムを楽しめる音楽のスペース・教育的なアプローチを意識したボード整理されたランチルーム等、様々な子どもの活動が楽しめるインテリアで演出されている。

文字や数の概念や自然のサイクルを知るために壁は子どもの目線に合わせて掲示。



柔らかな光が差し込みゆっくりとした雰囲気の中で食事が楽しめるランチルーム。



窓辺には植物が飾られ、家庭で過ごしているような気分で絵本を読むことができる。



子どもがイメージしたお気に入りの動物はストーリーテリングの主演として手作りする。



プロジェクト保育：自然をテーマに決めたら子どもの関心に合わせて太陽と雲の関係を探る学びへ。



沢山のイメージ遊びに corres えるために役割が演じられる衣装や洋服を整えてある部屋。





## ミステリ保育園・表現教育の職員研修

午後はアートを専門に関わってきた先生の経験を活かした子どもへのアプローチの仕方やアタッチメントについて学ぶ。音楽と光を組み合わせ柔らかな布で心をほぐし、水彩絵の具で春の訪れを待つ小さな虫を表現するアートワークに参加。

水彩絵の具はダイナミックな表現が引き出せるように広いスペースで。



春の訪れを小さな虫たちが喜び、色で表現する活動。色のにじみが鮮やかに広がる。



春を待った小さな虫の物語は色や音・光を感じる面白さを表現するためのアートプロジェクト



光が差し込む部屋に移動してマットの上に寝転がる。柔らかな布と音楽でリラックス。



イマジネーションが膨らみ形にする。小さな虫はどんな虫？互いに紹介しあい春を喜び。



職員の皆さんやユーモアいっぱいの園長先生と研修の提案をして下さったヒルツネンさんを囲んで。

